

野村エマージング・ソブリン 円投資型1210

運用報告書(全体版)

第11期（決算日2015年7月24日） 第12期（決算日2015年10月26日）

作成対象期間（2015年4月25日～2015年10月26日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	単位型投信／内外／債券	
信 託 期 間	2012年10月30日から2023年10月24日までです。	
運 用 方 針	野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行うことを基本とします。 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。為替ヘッジはマザーファンドにおいて行うため、原則として行いません。	
主な投資対象	野村エマージング・ソブリン 円投資型1210	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村エマージング・ソブリン 円投資型1210	株式への直接投資は行いません。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債を転換したもの等に関し、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時に原則として経費控除後の利子・配当等収益と売買益から、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額				受 益 回 利	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	元 残 存 本 率
		税 込 分 配 金	期 騰 落	中 額	期 騰 落 中 率				
(設定日)	円	円		円	%	%	%	%	%
2012年10月30日	10,000	—		—	—	—	—	—	100.0
1期(2013年1月24日)	9,993	60		53	0.5	2.2	99.4	—	99.6
2期(2013年4月24日)	9,946	60		13	0.1	1.4	103.8	—	96.2
3期(2013年7月24日)	9,373	45		△528	△5.3	△6.3	96.8	—	90.8
4期(2013年10月24日)	9,385	45		57	0.6	△4.1	97.1	—	84.1
5期(2014年1月24日)	9,141	45		△199	△2.1	△4.9	97.0	—	71.7
6期(2014年4月24日)	9,323	45		227	2.5	△2.5	97.1	—	64.8
7期(2014年7月24日)	9,506	45		228	2.4	△0.9	97.8	—	60.2
8期(2014年10月24日)	9,512	45		51	0.5	△0.5	96.6	—	55.9
9期(2015年1月26日)	9,573	45		106	1.1	0.0	96.0	—	50.6
10期(2015年4月24日)	9,611	45		83	0.9	0.4	97.0	—	47.4
11期(2015年7月24日)	9,393	45		△173	△1.8	△0.3	98.6	—	44.6
12期(2015年10月26日)	9,387	45		39	0.4	△0.1	98.2	—	42.3

* 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落	率		
第11期	(期 首)	円		%	%	%
	2015年4月24日	9,611	—	—	97.0	—
	4月末	9,598	△0.1	96.7	—	—
	5月末	9,565	△0.5	100.7	—	—
	6月末	9,438	△1.8	97.1	—	—
第12期	(期 末)					
	2015年7月24日	9,438	△1.8	98.6	—	—
	(期 首)					
	2015年7月24日	9,393	—	98.6	—	—
	7月末	9,403	0.1	99.0	—	—
	8月末	9,333	△0.6	95.4	—	—
	9月末	9,182	△2.2	96.1	—	—
	(期 末)					
	2015年10月26日	9,432	0.4	98.2	—	—

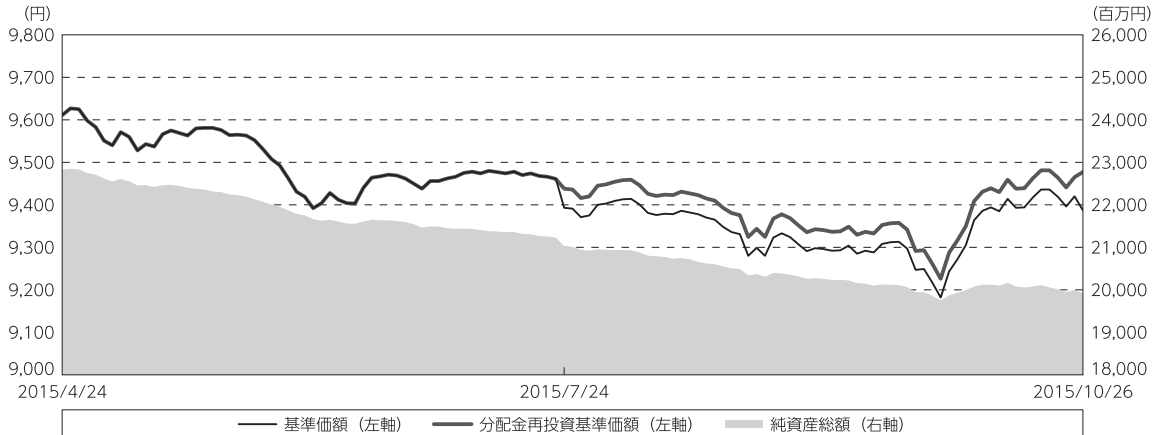
* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第11期首：9,611円

第12期末：9,387円（既払分配金（税込み）：90円）

騰落率：△1.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2015年4月24日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は、1.4%の下落（分配金を決算日に再投資したと仮定して計算。）

基準価額は、第11期期首の9,611円から第12期期末9,387円（分配後）となりました。第11期および第12期に分配金をそれぞれ45円お支払いしましたので、分配金を考慮した値下がり額は134円となりました。

（上昇）債券を保有していたことによるインカムゲイン（利息収入）。

（下落）保有債券の価格が下落したこと。

○投資環境

当作成期を通じて、米国10年債金利は上昇しました。

雇用など米国の経済指標に緩やかな改善が見られたことで、年後半の政策金利の引き上げが意識され、米国10年債金利は上昇しました。当作成期後半には、原油価格が下落したことや中国金融市場の混乱などを受けて米国10年債金利は低下する場面もありました。

投資国における米ドル建て国債の対米国債スプレッド（利回り格差）は、拡大しました。米国の利上げ開始が視野に入中、ブラジルや南アフリカ、トルコ、インドネシアなどファンダメンタルズ（基礎的条件）に懸念の残る国のスプレッドが拡大しました。また、原油価格の下落を受けて、コロンビアなど資源国のスプレッドも拡大しました。トルコでは総選挙において、エルドアン大統領率いる与党公正発展党（AKP）の議席が過半数を割り込みました。その後、連立政権樹立に向けた交渉も難航し、再選挙が行われる事となりました。不安定な政治情勢が長期化する中で、トルコの対米国債スプレッドは拡大しました。ブラジルでは、ブラジル石油公社ペトロbrasの汚職捜査が進む中で、複数の大手建設会社の幹部や政府高官などの関与が示唆されました。政治の不透明感が高まる中で、ブラジルの対米国債スプレッドは拡大しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村エマージング・ソブリン 円投資型1210]

作成期を通じて〔野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド〕受益証券の組入比率を高位に維持しました。

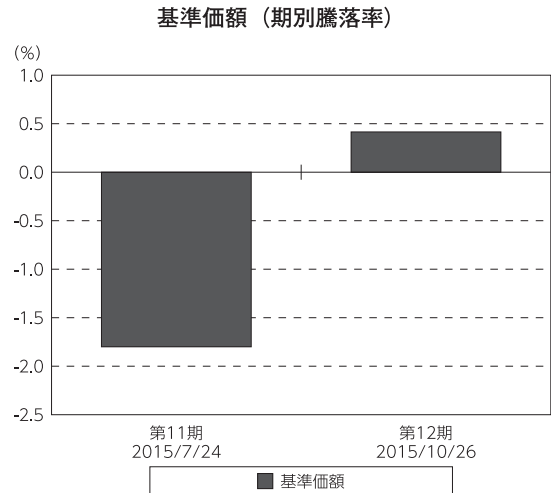
[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド]

信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8ヵ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。投資国はブラジル、インドネシア、マレーシア、ポーランド、南アフリカ、フィリピン、トルコ、コロンビアとしました。ポートフォリオのデュレーションは4～6年程度を維持しました。また、外貨建資産については、対円でヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎分配金

第11期および第12期の収益分配金は、基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から1口当たりそれぞれ45円とさせていただきます。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

◎今後の運用方針

〔野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド〕

今後の運用につきましては、引き続きBB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、投資対象国は5～10カ国程度を基本とし、定期的に見直します。ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。

〔野村エマージング・ソブリン 円投資型1210〕

〔野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1口当たりの費用明細

(2015年4月25日～2015年10月26日)

項 目	第11期～第12期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 54	% 0.573	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(21)	(0.218)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(31)	(0.328)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.006	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	55	0.579	
作成期間の平均基準価額は、9,419円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2015年4月25日～2015年10月26日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第11期～第12期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 2,328,704	千円 2,676,000

* 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2015年4月25日～2015年10月26日)

利害関係人との取引状況

<野村エマージング・ソブリン 円投資型1210>

該当事項はございません。

<野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド>

区 分	第11期～第12期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 10,040	百万円 400	% 4.0
為替先物取引	490,629	16,295	3.3	477,878	14,546	3.0
為替直物取引	—	—	—	12,056	1,246	10.3

平均保有割合 26.2%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2015年10月26日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第10期末	第12期末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド	千口 19,419,590	千口 17,090,885	千円 19,743,391

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2015年10月26日現在)

項 目	第12期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド	19,743,391	98.2
コール・ローン等、その他	354,320	1.8
投資信託財産総額	20,097,711	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンドにおいて、第12期末における外貨建て純資産（74,987,619千円）の投資信託財産総額（75,106,044千円）に対する比率は99.8%です。

*外貨建て資産は、第12期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=121.14円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第11期末	第12期末
	2015年7月24日現在	2015年10月26日現在
	円	円
(A) 資産	21,258,029,582	20,097,711,410
コール・ローン等	374,518,333	354,319,682
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド(評価額)	20,883,510,633	19,743,391,063
未収利息	616	665
(B) 負債	232,765,602	180,038,774
未払収益分配金	100,725,975	95,480,280
未払解約金	71,489,050	26,419,953
未払信託報酬	60,432,264	58,025,374
その他未払費用	118,313	113,167
(C) 純資産総額(A－B)	21,025,263,980	19,917,672,636
元本	22,383,550,000	21,217,840,000
次期繰越損益金	△ 1,358,286,020	△ 1,300,167,364
(D) 受益権総口数	2,238,355口	2,121,784口
1口当たり基準価額(C／D)	9,393円	9,387円

(注) 設定年月日2012年10月30日、設定元本額50,078百万円、第11期首元本額23,757百万円、第12期末元本残存率42.3%、第12期末計算口数当たり純資産額9,387円。

(注) 当作成期間中（第11期～第12期）における解約元本額は2,540百万円です。

○損益の状況

項 目	第11期	第12期
	2015年4月25日～ 2015年7月24日	2015年7月25日～ 2015年10月26日
	円	円
(A) 配当等収益	26,515	29,681
受取利息	26,515	29,681
(B) 有価証券売買損益	38,272,074	28,181,113
売買益	38,272,074	28,181,113
(C) 有価証券評価差損益	△ 377,842,539	108,899,317
(D) 信託報酬等	△ 62,248,069	△ 59,541,856
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	△ 401,792,019	77,568,255
(F) 前期繰越損益金	△ 924,336,181	△ 1,358,286,020
(G) 解約差損益金	68,568,155	76,030,681
(H) 計 (E + F + G)	△ 1,257,560,045	△ 1,204,687,084
(I) 収益分配金	△ 100,725,975	△ 95,480,280
次期繰越損益金 (H + I)	△ 1,358,286,020	△ 1,300,167,364

* 損益の状況の中で (D) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

	第11期	第12期
1口当たり分配金（税込み）	45円	45円

○お知らせ

有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2015年8月3日＞

野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド

運用報告書

第4期（決算日2015年10月26日）

作成対象期間（2014年10月25日～2015年10月26日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、米ドル建ての新興国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行うことを基本とします。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
主な投資対象	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行いません。株式への投資は、転換社債を転換したもの等に関し、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率			
(設定日)	円	%	%	%	百万円
2011年10月26日	10,000	—	—	—	5,800
1 期(2012年10月24日)	11,214	12.1	98.9	—	38,138
2 期(2013年10月24日)	10,865	△ 3.1	97.8	—	142,205
3 期(2014年10月24日)	11,354	4.5	97.5	—	99,187
4 期(2015年10月26日)	11,552	1.7	99.1	—	74,359

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

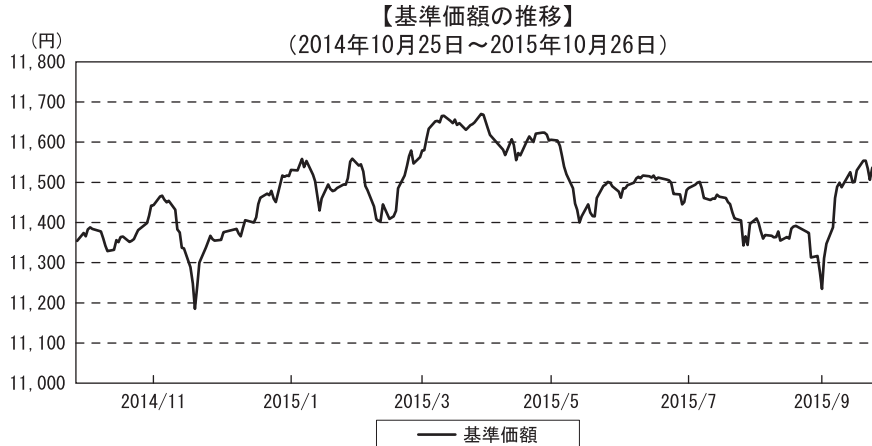
年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率		
(期 首)	円	%	%	%
2014年10月24日	11,354	—	97.5	—
10月末	11,384	0.3	98.1	—
11月末	11,443	0.8	100.3	—
12月末	11,376	0.2	97.1	—
2015年1月末	11,531	1.6	97.8	—
2月末	11,559	1.8	99.4	—
3月末	11,579	2.0	98.5	—
4月末	11,636	2.5	97.4	—
5月末	11,606	2.2	101.6	—
6月末	11,462	1.0	97.4	—
7月末	11,486	1.2	99.2	—
8月末	11,410	0.5	95.9	—
9月末	11,235	△1.0	96.6	—
(期 末)				
2015年10月26日	11,552	1.7	99.1	—

* 騰落率は期首比です。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は、1.7%の上昇

基準価額は、期首11,354円から期末11,552円となりました。基準価額の上昇額は198円となりました。

(上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン（利息収入）。

(下落) 保有債券の価格が下落したこと。

○当ファンドのポートフォリオ

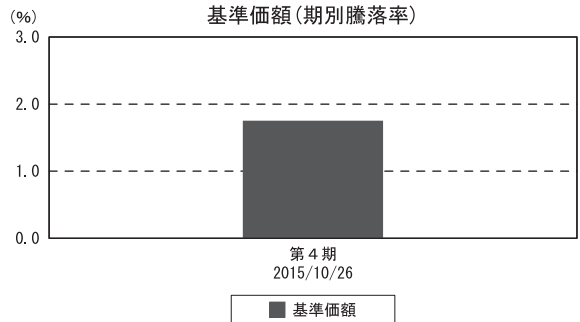
信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8ヵ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。投資国に関しては、期首から2014年10月末までは、ブラジル、インドネシア、マレーシア、ポーランド、南アフリカ、フィリピン、トルコ、ロシアに投資を行いました。2014年11月にロシアからコロンビアへの投資国入れ替えを実施し、投資国をブラジル、インドネシア、マレーシア、ポーランド、南アフリカ、フィリピン、トルコ、コロンビアとしました。ポートフォリオのデュレーションは4～6年程度を維持しました。また、外貨建資産については、対円でヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。

また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

今後の運用につきましては、引き続きBB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、投資対象国は5～10カ国程度を基本とし、定期的に見直します。ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年10月25日～2015年10月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 1	% 0.010	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	1	0.010	
期中の平均基準価額は、11,475円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年10月25日～2015年10月26日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ		千米ドル	千米ドル
		国債証券	104,630	338,359
		特殊債券	—	33,571

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2014年10月25日～2015年10月26日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 12,370	百万円 1,498	% 12.1	百万円 44,427	百万円 9,572	% 21.5
為替先物取引	1,063,390	18,697	1.8	1,028,508	14,546	1.4
為替直物取引	—	—	—	36,802	3,288	8.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2015年10月26日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年末満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	558,000	608,064	73,660,981	99.1	37.0	60.6	38.5	—
合 計	558,000	608,064	73,660,981	99.1	37.0	60.6	38.5	—

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 一印は組み入れなし。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* スタンダード・アンド・プアーズ、ムーディーズ・インベスターズ・サービスによる格付けを採用しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
国債証券	COLOMBIA GLOBAL		8.125	28,000	34,867	4,223,788	2024/5/21
	FED REPUBLIC OF BRAZIL		5.875	21,500	23,037	2,790,732	2019/1/15
	FED REPUBLIC OF BRAZIL		4.875	47,000	46,060	5,579,708	2021/1/22
	FED REPUBLIC OF BRAZIL		2.625	6,000	4,950	599,643	2023/1/5
	REPUBLIC OF COLOMBIA		4.0	42,000	41,685	5,049,720	2024/2/26
	REPUBLIC OF INDONESIA		4.875	27,200	28,983	3,511,008	2021/5/5
	REPUBLIC OF INDONESIA		3.75	22,000	22,037	2,669,666	2022/4/25
	REPUBLIC OF PHILIPPINES		6.5	32,200	38,220	4,630,038	2020/1/20
	REPUBLIC OF PHILIPPINES		4.0	33,500	36,731	4,449,643	2021/1/15
	REPUBLIC OF POLAND		6.375	27,100	31,537	3,820,402	2019/7/15
	REPUBLIC OF POLAND		5.0	39,000	44,167	5,350,450	2022/3/23
	REPUBLIC OF POLAND		3.0	1,000	1,018	123,359	2023/3/17
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA		5.5	36,000	39,105	4,737,179	2020/3/9
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA		5.875	33,000	36,612	4,435,259	2022/5/30
	REPUBLIC OF TURKEY		7.5	18,000	20,736	2,511,959	2019/11/7
	REPUBLIC OF TURKEY		6.25	40,200	45,016	5,453,306	2022/9/26
	TURKEY GLOBAL		7.0	6,000	6,723	814,475	2019/3/11
	TURKEY GLOBAL		7.375	3,000	3,636	440,479	2025/2/5
特殊債券 (除く金融債)	PERTAMINA PT		5.25	25,200	26,066	3,157,671	2021/5/23
	PETRONAS CAPITAL LTD		5.25	70,100	76,873	9,312,487	2019/8/12
合 計						73,660,981	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2015年10月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	73,660,981	98.1
コール・ローン等、その他	1,445,063	1.9
投資信託財産総額	75,106,044	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。
*当期末における外貨建て純資産（74,987,619千円）の投資信託財産総額（75,106,044千円）に対する比率は99.8%です。
*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=121.14円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年10月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	148,563,382,575
コール・ローン等	445,293,554
公社債(評価額)	73,660,981,743
未収入金	73,458,961,760
未収利息	998,145,518
(B) 負債	74,204,097,000
未払金	74,204,097,000
(C) 純資産総額(A－B)	74,359,285,575
元本	64,366,662,500
次期繰越損益金	9,992,623,075
(D) 受益権総口数	64,366,662,500口
1万円当たり基準価額(C／D)	11,552円

(注) 期首元本額87,355百万円、期中追加設定元本額0百万円、期中一部解約元本額22,989百万円、計算口数当たり純資産額11,552円。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

・野村エマージング・ソブリン	円投資型1110	1,114百万円
・野村エマージング・ソブリン	円投資型1111	581百万円
・野村エマージング・ソブリン	円投資型1203	356百万円
・野村エマージング・ソブリン	円投資型1205	877百万円
・野村エマージング・ソブリン	円投資型1208	9,534百万円
・野村エマージング・ソブリン	円投資型1210	17,090百万円
・野村エマージング・ソブリン	円投資型1211	16,603百万円
・野村エマージング・ソブリン	円投資型1212	11,489百万円
・野村エマージング・ソブリン	円投資型1301	5,078百万円
・野村エマージング・ソブリン	円投資型1302	1,008百万円
・野村エマージング・ソブリン	円投資型1303	630百万円

○損益の状況 (2014年10月25日～2015年10月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,263,505,402
受取利息	4,263,505,402
(B) 有価証券売買損益	△ 2,744,272,418
売買益	18,017,308,735
売買損	△20,761,581,153
(C) 保管費用等	△ 8,484,922
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	1,510,748,062
(E) 前期繰越損益金	11,831,467,475
(F) 解約差損益金	△ 3,349,592,462
(G) 計(D＋E＋F)	9,992,623,075
次期繰越損益金(G)	9,992,623,075

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

- ①書面決議の要件緩和等に関する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2014年12月1日＞

- ②書面決議に反対した受益者が受託者に対して行う受益権の買取請求を不適用とする所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2014年12月1日＞

- ③デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2014年12月16日＞

- ④有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2015年8月3日＞

＜お申し込み時の留意点＞

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

（2015年10月26日現在）

年 月	日
2015年10月	－
11月	11、26
12月	25、28

※ 2015年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ（<http://www.nomura-am.co.jp/>）にも掲載いたしております。